

## 略号表

- 〔秋月臨濟〕∥秋月龍珉『臨濟録』筑摩書房、一九七二年。  
〔秋月趙州〕∥秋月龍珉『趙州録』筑摩書房、一九七一年。  
〔石井華嚴〕∥石井公成『華嚴思想の研究』春秋社、一九九六。  
〔石井金剛〕∥石井公成『金剛三昧経』の成立事情』印仏研四六卷二号、一九九八年。  
〔石井清規〕∥石井修道『百丈清規の研究—『禅門規式』と『百丈古清規』』駒沢大学禅研究所年報第六号、一九九五年。  
〔一視点〕∥冲本克己『初期禅宗史の一視点』、『鎌田記念・中国の仏教と文化』東京、一九八八年。  
〔伊吹壇経〕∥伊吹敦『敦煌本『壇経』の形成—慧能の原思想と神会派の展開—』論叢アジアの文化と思想、第四号、アジアの文化と思想の会、一九九五年。  
〔入矢伝灯録〕∥入矢義高監修『景德伝灯録 三』禅文化研究所、一九九三年。  
〔入矢馬祖〕∥入矢義高『馬祖の語録』禅文化研究所、一九八四年。  
〔ウバソク〕∥土橋秀高『ウバソク戒経の問題』印仏研十二卷一号、東京、一九六四。  
〔宇井二〕∥宇井伯寿『禅宗史研究』、岩波書店、一九三五年。  
〔宇井二〕∥宇井伯寿『禅宗史研究』、岩波書店、一九四一年。  
〔上山敦煌〕∥上山大峻『敦煌仏教の研究』法蔵館、一九九〇年。  
〔上山法成〕∥上山大峻『大蕃国大徳三蔵法師沙門法成の研究(上)』『東方学包三八冊』京都。  
〔上山楞伽〕∥上山大峻『チベット訳『楞伽師資記』について』『仏教文献の研究』京都、一九六八年。

- 〔上山要決〕 〓 上山大峻「チベット訳『頓悟真宗要決』の研究」禅文化研究所紀要第八号、京都、一九七六年。
- 〔上山116〕 〓 上山大峻「敦煌出土・チベット文禅資料の研究—*Part. II*—とその問題点—」仏教文化研究所紀要13集、京都、一九七四年。
- 〔小畑偽経〕 〓 小嶋宏允「チベットの禅宗と蔵訳偽経について」印仏研二三卷二号、東京、一九七五年。
- 〔慧能研究〕 〓 駒沢大学禅宗史研究室編『慧能研究』天修館、一九七八年。
- 〔王梵志〕 〓 張錫厚校輯『王梵志詩校輯』中華書局、一九八三年。
- 〔岡部法句経〕 〓 岡部和雄「偽作『法句経』研究の現段階」古田古希論集、創文社、一九八一年。
- 〔沖本馬祖〕 〓 沖本克己『馬祖語録』について「花園大学研究紀要第十五号、京都、一九八四年。
- 〔柏木起信〕 〓 柏木弘雄『大乘起信論の研究』春秋社、一九八一年。
- 〔鎌田宗密〕 〓 鎌田茂雄『宗密教学の思想史的研究』、東文研、一九七五年。
- 〔鎌田華嚴〕 〓 鎌田茂雄『中国華嚴思想史の研究』東京、一九六五年。
- 〔鎌田中国〕 〓 鎌田茂雄『中国仏教史』岩波書店、一九七八年。
- 〔鎌田禅源〕 〓 鎌田茂雄『禅源諸詮集都序』禅の語録9、筑摩書房、一九七一年。
- 〔鎌田思想史〕 〓 鎌田茂雄『中国仏教思想史研究』春秋社、一九六八年。
- 〔神尾観心〕 〓 神尾弑春『観心論私考』、宗教研究、新九—五号、東京、一九三二年。
- 〔川勝新仏教〕 〓 川勝義雄『中国新仏教形成のエネルギー—福永光司編』中国中世の宗教と文化』人文研、一九八二年。
- 〔寒山詩〕 〓 入谷仙介『寒山詩』禅の語録13、筑摩書房、一九七〇年。
- 〔衣川札記〕 〓 衣川賢次『臨濟録札記』禅文化研究所紀要第一五号、一九八八年。
- 〔木村思想史〕 〓 木村泰賢『印度哲学仏教思想史』東京、一九三四年。
- 〔木村華嚴〕 〓 木村清孝『初期中国華嚴思想の研究』春秋社、一九七七年。

- 〔木村目録〕 〓 木村隆徳「敦煌チベット語禪文獻目録初稿」東京大学文学部文化交流研究施設研究紀要第4号、一九八〇年。
- 〔玄沙教理〕 〓 沖本克己「禪宗の教理思想―玄沙の不佞麼を通して」田村還曆記念論集、一九八二年。
- 〔玄沙上〕 〓 『玄沙広録』 上「禪文化研究所、一九八七年。
- 〔計量語彙〕 〓 沖本克己「MENSURA ZOUJI―禪文獻の計量語彙論的研究の試み」禪文化研究所紀要第一九号、一九九三年。
- 〔眼蔵〕 〓 『道元』 上・下「日本思想大系十二・一三、岩波書店、一九七二年。
- 〔講座敦煌 8〕 〓 篠原寿雄・田中良昭編「敦煌仏典と禪」講座敦煌 8、大東出版社、一九八〇年。
- 〔小島円明〕 〓 小島岱山「自性清浄円明体の成立事情」印仏研 30-1、東京、一九八一年。
- 〔小島還源〕 〓 『妄尽還源觀』の撰者をめぐる諸問題「南都仏教」9号、東大寺、一九八二年。
- 〔胡適遺集〕 〓 胡適「神会和尚遺集」台北、一九六八年。
- 〔胡適禪学〕 〓 胡適「支那禅学之變遷」東京、一九三六年。
- 〔胡適變遷〕 〓 胡適「支那禅学之變遷」東京、一九三六年。
- 〔語録の形成〕 〓 柳田聖山「禅宗語録の形成」印仏研一八卷一号、東京、一九六九。
- 〔西藏禅心〕 〓 沖本克己「敦煌出土西藏文禅宗文獻の研究(二)」、印仏研第二七卷二号、一九七九年。
- 〔西明寺〕 〓 沖本克己「西明寺と吐蕃仏教」禅学研究七一号、京都、一九九三。
- 〔酒井典籍〕 〓 酒井真典「喇嘛教の典籍」東京、一九四四年。
- 〔七祖法宝記〕 〓 沖本克己「七祖法宝記」について「禅学研究第七五号、京都、一九九七年。
- 〔竺沙僧官〕 〓 竺沙雅章「敦煌の僧官制度」東方学報第三一冊、京都、一九六一年。
- 〔釈老志〕 〓 『魏書』卷一一四、釈老志。(百納本)。「塚本善隆著作集」第一卷・魏書釈老志の研究、大東出版社、一九七四。
- 〔修心要論〕 〓 『修心要論』(鈴木大拙全集)第二卷、岩波書店、一九六八所集)。

- 〔宗論1〕＝沖本克己〔bSam yas の宗論(1)〕日本西蔵学会々々報第21号、東京、一九七五年。
- 〔宗論2〕＝沖本克己〔bSam yas の宗論(2)〕日本西蔵学会々々報第22号、東京、一九七六年。
- 〔宗論3〕＝沖本克己〔bSam yas の宗論(3)〕日本西蔵学会々々報第23号、東京、一九七七年。
- 〔習禪者1〕＝沖本克己〔初期の習禪者達〕、仏教学一二号、東京、一九八一。
- 〔習禪者2〕＝沖本克己〔初期の習禪者達(2)〕禪学研究六二号、京都、一九八三年。
- 〔授戒儀礼〕＝土橋秀高〔授戒儀礼の変遷〕芳村修基編『仏教教団の研究』
- 〔正理決〕＝『頓悟大乘正理決』(P.4646)。cf. [CL]
- 〔初期大乘〕＝平川彰『初期大乘仏教の研究』春秋社、一九六八年。
- 〔清規研究〕＝沖本克己〔清規研究ノート〕、佐々木教悟編『戒律思想の研究』京都、一九八一年。
- 〔神会語録〕＝『南陽和上頓教解脱禪門直了性壇語』(胡適校)『神会和尚遺集』所収、台北、一九六八年。
- 〔末木奈良〕＝末木文美士〔奈良時代の禪〕『禪文化紀要』25号、一九八八年。
- 〔鈴木2〕＝『鈴木大拙全集』第二卷、岩波書店、一九六八年。
- 〔鈴木3〕＝『鈴木大拙全集』第三卷、岩波書店、一九六八年。
- 〔鈴木玄沙〕＝鈴木哲雄〔玄沙師備と福建の禪宗〕『宗教研究』二二四号、東京、一九七五年。
- 〔鈴木雪峰〕＝鈴木哲雄〔雪峰に関する資料の検討〕『禪研究所紀要第四、五号合併号、名古屋、一九七五年。〕
- 〔鈴木法眼〕＝鈴木哲雄〔法眼宗の形成(一)〕『愛知学院大学文学部紀要第六号、名古屋、一九七六年。〕
- 〔関口大師〕＝関口眞大『達摩大師の研究』、春秋社、一九六九年。
- 〔関口止観〕＝関口眞大『天台止観の研究』東京、一九六七年。
- 〔関口発生〕＝関口眞大『禪宗の発生』、『福井博士頌寿記念東洋思想論集』東京、一九六〇年。

- 〔関口達磨〕 関口真大『達磨の研究』岩波書店、一九六七年。
- 〔絶観論〕 絶観論『禅文化研究所』一九七三年。
- 〔禅苑清規〕 鏡島元隆他『訳注禅苑清規』曹洞宗事務庁、一九七二年。
- 〔善戒研〕 沖本克己『菩薩善戒經について』印仏研二十二卷一號、東京、一九七三。
- 〔禅史仏〕 沖本克己『禅宗史上の仏』玉城康四郎博士還曆記念論集・仏の研究』東京、一九七七。
- 〔禅宗の教団⑧〕 沖本克己『禅宗の教団⑧』禅文化129号、一九九七年。
- 〔禅詮集〕 宇井伯寿『禅源諸詮集都序』東京、一九三九年。
- 〔総目索引〕 『敦煌遺書総目索引』北京、一九六二年。
- 〔蔵外二〕 方廣鋳氏主編『蔵外仏教文献』第一輯、宗教文化出版社、北京、一九九五年。
- 〔蔵外三〕 方廣鋳氏主編『蔵外仏教文献』第二輯、宗教文化出版社、北京、一九九六年。
- 〔僧稠〕 沖本克己『僧稠について』仏教学特集号・仏教学の諸問題』山喜房仏書林、一九八七年。
- 〔大乘戒〕 沖本克己『大乘戒』講座大乘仏教1 大乘仏教とは何か』東京、一九八一年。
- 〔大乘戒経〕 大野法道『大乘戒経の研究』山喜房仏書林、一九五四。
- 〔田中敦煌〕 田中良昭『敦煌禅宗文献の研究』東京、一九八三年。
- 〔田中長卷子〕 田中良昭『二入四行論長卷子』擬研究覚え書』駒大仏教学部研究紀要三十八号、東京、一九八〇年。五一〜六九頁。
- 〔田中雜録〕 田中良昭『四行論長卷子雜録の一異本』宗学研究第一三三号、東京、一九七一年。
- 〔田中長卷子〕 田中良昭『二入四行論長卷子』(擬)研究覚え書』駒沢大学仏教学部研究紀要三八号、東京、一九八〇年。
- 〔田中戒律〕 田中良昭『初期禅宗と戒律』駒沢宗学研究十一号、東京、一九六九年。
- 〔壇語〕 『南陽和上頓教解脱禅門直了性壇語』(胡適校)『神会和尚遺集』所収、台北、一九六八年。

- 〔孟壇經〕＝孟東変「敦煌本『壇經』について―いくつかの問題点と本文校訂―」『禅学研究』七五号、一九九七年。
- 〔朝鮮禅宗〕＝沖本克己「朝鮮禅宗成立史への一視点―特に留学僧の動向を通じて―」蔡澤洙博士華甲記念・仏教学論集、東国大学校、一九九一年。
- 〔塚本<sup>1</sup>〕＝『塚本善隆著作集』第二卷、東京、一九七四年。
- 〔塚本<sup>3</sup>〕＝『塚本善隆著作集』第三卷、東京、一九七五年。
- 〔塚本通史〕＝『塚本善隆』中国仏教通史』二卷、東京、一九六八年。
- 〔定是非論〕＝『南陽和上頓教解脱禅門直了性壇語』(胡適校『神会和尚遺集』所収、台北、一九六八年)。
- 〔伝心法要〕＝入矢義高『禅の語録8・伝心法要』筑摩書房、一九六九年。
- 〔伝灯録〕＝東禅寺版『景德伝灯録』、禅文化研究所、一九九〇年。
- 〔東北〕＝『西蔵撰述仏典目録』東北大学、一九五三年。
- 〔東洋文庫目録〕＝『東洋文庫』スタイン蒐集チベツト語文献解題目録』<sup>1</sup>8冊、東京、一九七七―一九八四。
- 〔常盤支那〕＝『常盤大定』支那仏教の研究』第三、東京、一九四三年。
- 〔吐蕃刑法〕＝山口瑞鳳「ソントエンガンポ王の「十六条法」の虚構性と吐蕃の刑法」、『隋唐帝国と東アジア世界』一九七九年。
- 〔吐蕃年代〕＝山口瑞鳳「吐蕃王国仏教史年代考」、成田山仏教研究所紀要第三号、成田、一九七八年。
- 〔土橋戒律〕＝土橋秀高『戒律の研究』京都、一九八〇年。
- 〔吐蕃支配〕＝山口瑞鳳、「吐蕃支配時代」、『講座敦煌2・敦煌の歴史』東京、一九八〇年。
- 〔頓悟要門〕＝平野宗浄『禅の語録6・頓悟要門』筑摩書房、一九七〇年。
- 〔敦煌探検〕＝梅村坦「敦煌探検・研究史」、『講座敦煌1』東京、一九八〇年。
- 〔敦煌写本〕＝吳其昱「敦煌漢文写本概観」、『講座敦煌5』東京、一九九二年。

- 〔敦煌律蔵〕＝土橋秀高「敦煌の律蔵」、『講座敦煌7・敦煌と中国仏教』東京、一九八四年。
- 〔敦煌西蔵3〕＝沖本克己「敦煌の西蔵文禪宗文献の研究(3)」
- 〔敦煌西蔵ト〕＝沖本克己「敦煌の西蔵文禪宗文献の研究(4)」印仏研三〇巻二号、東京、一九八二年。
- 〔敦仏研〕＝土橋秀高「敦煌出土仏典の研究」龍谷大学仏教文化研究所紀要第十二号、京都、一九七三。
- 〔中村原始上〕＝中村元「原始仏教の思想(上)」春秋社、一九七〇年。
- 〔中村経集〕＝中村元訳『ブツダのことは』岩波文庫、一九五八年。
- 〔中村法句〕＝中村元訳『真理のことは・感興のことは』岩波文庫、一九七八年。
- 〔西口伝灯録〕＝西口芳男「福州東禪寺版『景德伝灯録』について」、禅文化研究所紀要第十五号、一九八八年。
- 〔如来蔵〕＝沖本克己「禅と如来蔵」花大紀要十九号、京都、一九八八年。p.36ff.
- 〔野上古写経〕＝野上俊静編「大谷大学所蔵・敦煌古写経 続」大谷大学、一九七二年。
- 〔馬祖禅〕＝柳田聖山「馬祖禅の諸問題」印仏研一七巻一号、東京、一九六八。
- 〔馬祖録〕＝『馬祖道一禅師広録』2.119。(入矢義高編『馬祖の語録』禅文化研究所、一九八四年。)
- 〔羽田野〕＝羽田野伯猷「瑜伽行派の菩薩戒をめぐる」『鈴木学術財団研究年報』一四号、東京、一九七七年。
- 〔林達磨〕＝林岱雲「菩提達磨伝の研究」宗教研究新913、東京、一九三二年。
- 〔百丈古規〕＝沖本克己『百丈古規』について、禅文化研究所紀要第12号、一九八〇年。
- 〔平井般若〕＝平井俊栄「中国般若思想史研究」東京、一九七六年。
- 〔平川イ上〕＝平川彰「インド仏教史・上」東京、一九七四年。
- 〔平川イ下〕＝平川彰「インド仏教史・下」東京、一九七九年。
- 〔平川縁起〕＝平川彰『法と縁起』著作集第一巻、春秋社、一九八八年。

- 〔平川起信〕 〓 平川彰『大乘起信論』大蔵出版、一九七三年。
- 〔平川原始〕 〓 平川彰『原始仏教の研究』東京、一九六四年。
- 〔平川清規〕 〓 平川彰『百丈清規と戒律』仏教学第三七号、一九九五年。
- 〔平川菩薩戒〕 〓 平川彰『大乘戒と菩薩戒経』福井博士頌寿記念・東洋学論集、一九六〇年。
- 〔藤枝六一〕 〓 藤枝晃『吐蕃支配期の敦煌』東方学報三一、京都、一九六一。
- 〔藤枝僧尼籍〕 〓 藤枝晃『敦煌の僧尼籍』東方学報第二九冊、京都、一九五九年。
- 〔古田達摩〕 〓 古田紹欽『菩提達摩以前の禅』鈴木学術財団研究年報、東京、一九六五年。
- 〔北京〕 〓 鈴木学術財団『北京版西蔵大蔵経総目録』
- 〔法王経〕 〓 沖本克己『禅宗史に於ける偽経―『法王経』について』禅文化研究所紀要一〇号、一九七八年。
- 〔宝慶記〕 〓 池田魯参『宝慶記』大東出版社、一九八九年。
- 〔龐居士〕 〓 入矢義高『龐居士語録』筑摩書房、一九七三年。
- 〔菩薩戒〕 〓 沖本克己『菩薩戒について』森章司編『戒律の世界』北辰堂、一九九三年。
- 〔本多中論〕 〓 本多恵訳『中論註和訳』国書刊行会、一九八八年。
- 〔摩訶衍〕 〓 〔摩訶衍の思想〕、花園大学研究紀要第八号、京都、一九七七年。
- 〔牧田疑経〕 〓 牧田諦亮『疑経研究』京都、一九七六年。
- 〔松本批判〕 〓 松本史朗『禅思想の批判的研究』大蔵出版、一九九四年。
- 〔水野禅宗〕 〓 水野弘元『禅宗成立以前のシナの禅宗思想史序説』駒大紀要十五号、東京、一九五七年。
- 〔水野金剛〕 〓 水野弘元『菩提達摩の二入四行説と金剛三昧経』駒沢大学研究紀要一三号、一九五五年。
- 〔水野法句〕 〓 水野弘元『偽作の法句経について』同一九号、一九六一年。

- 〔無相義〕＝沖本克己『唯一無相義』について―敦煌発見のチベット語テキストの校訂と和訳、禪学研究第六六号、一九八七年。
- 〔無門関〕＝平田高士『禪の語録18・無門関』筑摩書房、一九六九年。
- 〔鳴沙余韻〕＝矢吹慶輝『鳴沙余韻』岩波書店、一九三三年。
- 〔望月浄土〕＝望月信亨『浄土教の起源及発達』、山喜房仏書林、一九七二年。
- 〔望月成立史〕＝望月信亨『仏教経典成立史論』法蔵館、一九四六年。
- 〔柳田臨濟〕＝柳田聖山『訓注臨濟録』京都、一九六一年。
- 〔柳田古尊宿〕＝柳田聖山『古尊宿語録考』花園大学研究紀要二、一九七一年。
- 〔柳田臨濟2〕＝柳田聖山『臨濟録』仏典講座30、大蔵出版、一九七二年。
- 〔柳田ノート〕＝柳田聖山『臨濟ノート』春秋社、一九七一年。
- 〔柳田解題〕＝柳田聖山『禅籍解題』『世界古典文学全集』36B、東京、一九七四年。
- 〔柳田禅門〕＝柳田聖山『禅門経について』塚本博士頌寿記念・仏教史学論集、京都、一九六一年。
- 〔柳田初期〕＝柳田聖山『初期禅宗史書の研究』法蔵館、一九六七年。
- 〔柳田法宝〕＝柳田聖山『伝法法紀とその作者』禅学研究五三号、京都、一九六三年。
- 〔柳田ダルマ〕＝『ダルマ禅とその背景』横超慧日編『北魏仏教の研究』、平楽寺書店、一九七〇年。
- 〔禅家語録〕＝柳田聖山『禅家語録Ⅱ』世界古典文学全集36B、筑摩書房、一九七四年。
- 〔柳田達摩〕＝柳田聖山『達摩の語録1』東京、一九六九年。
- 〔柳田禅史1〕＝柳田聖山『初期の禅史Ⅰ』禅の語録2。東京、一九七一年。
- 〔柳田禅史2〕＝柳田聖山『初期の禅史Ⅱ』禅の語録3。東京、一九七六年。
- 〔柳田二入〕＝柳田聖山『菩提達摩二入四行論の資料価値』印仏研十五卷一号、東京、一九六六年。

- 〔柳田仏伝〕＝柳田聖山「禪の仏伝」印仏研二三卷一号、東京、一九六五年。
- 〔柳田止観〕＝柳田聖山「初期禪宗と止観思想」関口真大編「止観の研究」東京、一九七五年。
- 〔柳田北宗〕＝柳田聖山「北宗禪の思想」禪文化研究所紀要第6号、京都、一九七四年。
- 〔柳田教学〕＝柳田聖山「臨濟録に見える仏教学的諸問題について」印仏研九卷二号、一九六一年。
- 〔柳田灯史〕＝柳田聖山「灯史の系譜」日本仏教学会年報一九号、東京、一九五四年。
- 〔山内天台〕＝山内舜雄「禪と天台止観」東京、一九八六年。
- 〔山崎中国〕＝山崎宏「中国仏教・文化史の研究」京都、一九八一年。
- 〔山崎中世〕＝山崎宏「支那中世仏教の展開」京都、一九七一年。
- 〔結城曇遷〕＝結城令聞「隋・西京禪定寺道場釈曇遷の研究」福井記念・東洋思想論集、東京、一九六〇年。
- 〔酉陽雜俎〕＝『酉陽雜俎』今村与志雄訳、東洋文庫382、東京、一九八〇年。
- 〔吉岡道教3〕＝吉岡義豊「道教と仏教・第三」、国書刊行会、一九七六年。
- 〔吉川六朝〕＝吉川忠夫「六朝精神史研究」京都、一九八四年。
- 〔吉津華嚴〕＝吉津宜英「華嚴禪の思想史的研究」大東出版社、一九八五年。
- 〔芳村〕＝芳村修基「インド大乘仏教思想研究」京都、一九七四年。
- 〔律蔵研究〕＝平川彰「律蔵の研究」東京、一九六〇年。
- 〔律文献〕＝沖本克己「律文献」講座敦煌・敦煌胡語文献「大東出版社、一九八五年。
- 〔sDe dge〕＝デルゲ版西蔵大蔵経
- 〔DKcat〕＝pho brang sTod thang lDan dkar gyi bka' dang bstan bcos 'gyur ro cog gi dkar chag// Lalou, M. "Les Textes Bouddhiques, au Temps du Roi Khri srong lde btsan" JA.1953, Tome CCXLI-3, paris. 『ドゥンカル』田録』

- [KGG] = dPa'i bo gtsug lag, mkKhas pa'i dGa' ston, Śatapiṭaka series, v.9(4), New Delhi, 1962.
- [Lalou] = M.Lalou, *Inventaire des Manuscrits Tibétains de Touen-houang. I-III*, Paris, 1939.
- [MBT. II] = G.Tucci, *Minor Buddhist Texts part II*, Roma, 1958.
- [MBT. III] = G.Tucci, *Minor Buddhist Texts pt. III*, Roma, 1971.
- [MVP] = 榊亮三郎『翻訳名義大集』東京、一九一六。
- [PK] = 北京大藏經番号。
- [P] = ペリオコレクション番号。cf.[Lalou]『フルー目録』
- [Poussin] = L.V.Poussin, *Catalogue of the Tibetan Manuscripts from Tun-Huang in the India Office Library, Oxford*, 1962.
- [S] = スタインコレクション番号。cf.[Poussin]『ブサン目録』
- [SMG] = sNub chen Sangs rgyas ye shes : rNal 'byor mig gi bsam gtan, pub. by S. W. Tashi gangpa, Ladakh, 1974. 『禪定燈明論』
- [SS] = Śikṣhasāmanuccāya, ed. by Bendall, Bibliotheca Buddhica, St. Petersburg, 1902. 漢訳『大乘集菩薩學論』大正三二・七五中以下。
- [T] = 大正新脩大藏經